

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	2725
部 名	経済部	課 名	産業振興課	課長名	下山啓二
事務事業名	中小企業研究開発支援事業				
予算上の事務事業名	中小企業研究開発支援事業費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31310		
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第3節 工業の振興				事業開始年度
施策名	第1施策 人材、技術など経営資源の強化支援				平成14年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要					
計画名	概要				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付) ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
<p>経済のグローバル化による経営環境が悪化が進展する中で、中小企業が生き残るためには、新製品や新技術の開発が不可欠である。そのため、研究費用の一部を市が助成することにより、自立した中小企業の育成を図る。</p> <p>具体的には、中小企業の個別の新製品、新技術の開発に係る研究開発費の助成制度と先端技術の育成を図る、次世代産業実用化研究促進事業、及びに、燃料電池普及推進事業を実施している。</p>			市内中小企業		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> 研究開発費用の一部助成：8件 (内1件は中止) 申込期間：平成17年5月16日～6月10日 補助金説明会：平成17年5月20日 審査会：平成17年7月28日 中小企業次世代産業実用化研究促進事業 燃料電池フォーラム (4月28日・3月30日) 燃料電池セミナー (9月15日・1月19日・2月8日・3月30日) 次世代産業研究会 (9月15日・12月15日・3月3日) 					
6 関連・類似事業や他市の状況					
<p>研究開発補助金制度については、県、市レベルで多数実施している。</p> <p>中小企業次世代産業実用化研究促進事業は、神奈川県「コア・クラスター事業」と連携をしている。</p>					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	4,885	10,120	16,425	28,240	28,240
一般財源	4,885	10,120	16,425	28,240	28,240
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	985	1,455	2,169	2,891	2,891
事業コスト合計	5,870	11,575	18,594	31,131	31,131
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	中小企業研究開発支援事業補助金			対象名称と単位	研究開発企業数 (件)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	5,870	11,575	13,871	26,409	26,409
対象数	3	6	8	10	10
単位あたり経費(円)	1,956,667	1,929,167	1,733,875	2,640,900	2,640,900
前年度比		0.99	0.90	1.52	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	助成件数(件)	指標式と指標の説明	新製品・新技術の開発を行う中小企業に対する助成件数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	3.0	6.0	8.0		
目標	3.0	6.0	8.0	10.0	10.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	事業化件数(件)	指標式と指標の説明	開発案件のうち、終了時点で事業化の目途が立った件数(開発が2年度にまたがるものは、終了年度に計上)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	1.0	2.0	4.0		
目標	1.0	3.0	4.0	5.0	10.0
目標達成度(%)	100.0	66.7	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]: 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]: 概ね良好な状況である事業				
	[★★★]: 見直しを行う必要がある事業				
	[★]: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市内の中小企業が生き残るためには、研究開発力の強化や今後の成長が期待される分野への進出が求められることから、今後も引き続き支援を行う。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
平成18年度から、地域や行政が抱える課題の解決につながる研究開発に対する支援枠を新設し、相模原発・地域密着の製品開発を促進する。					
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			